

がん化学療法レジメン登録票

新規レジメン登録の際にはプロトコールの提出が必須です
プロトコールがない場合は参考文献を提出してください

レジメン名	オラパリブ（術後薬物療法）
診療科名	乳腺科
診療科責任者名	福間 英祐
適応がん種	BRCA遺伝子変異陽性かつHER2陰性で再発高リスクの乳がんにおける術後薬物療法
保険適応外の使用	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

がん治療ワーキンググループ使用欄	
登録番号	BR-076
登録日・更新日	2022年10月25日
削除日	
出典	リムバーザ錠適正使用ガイド(乳がん) N Engl J Med.2021 Jun 24;384(25):2394-2405
入力者	阿部 誠也

投与順に記入(抗がん剤のみ)

	薬剤名:一般名 (薬剤名:商品名)	規格	投与量算出式	投与経路	投与時間	施行日
No.1	オラパリブ (リムバーザ錠)	100,150mg	300mg/回	<input type="checkbox"/> IV <input type="checkbox"/> DIV <input type="checkbox"/> CV <input type="checkbox"/> 側管 <input checked="" type="checkbox"/> その他(経口)	1日2回	連日

1コースの期間	設定なし
投与間隔の短縮規定	設定なし
計算後の投与量上限値	300mg/回
計算後の投与量下限値	200mg/回
減量・中止基準	<p>【開始基準 (OlympiA試験の患者選択基準)】 Hb\geq10g/dL、ANC\geq1500/μL、Plt\geq10万、T-Bil\leq1.5ULN、AST,ALT\leq2.5ULN(肝転移がある場合はAST,ALT\leq5ULN)、SCr\leq1.5ULN</p> <p>【減量基準】 HbがGrade3又は4 Hb\geq9g/dLになるまで最大4週間休薬 1回目の再開\rightarrow減量せず。2回目の再開時250mg/回\rightarrow減量。3回目の再開時200/回\rightarrow減量。 ANCがGrade3又は4 Grade1以下になるまで休薬 1回目の再開\rightarrow減量せず。2回目の再開時250mg/回\rightarrow減量。3回目の再開時200/回\rightarrow減量。 Plt減少Grade3又は4 Grade1以下になるまで最大4週間休薬 再開時減量せずに投与。 上記以外の副作用 Grade3又は4 Grade1以下になるまで休薬 再開時減量せずに投与。</p>
前投薬	なし
その他の注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・100mg錠と150mg錠の生物学的同等性は示されていないため、300mgを投与する際は100mg錠を使用しないこと。 ・腎機能障害患者における用量調節(海外添付文書) CrCL\geq51mL/min 1回300mg 1日2回 31\leqCrCL<50mL/min 1回200mg 1日2回 CrCL<30mL/min 使用経験なし ・併用注意薬剤:CYP3A誘導・阻害作用を有する薬剤 中等度以上のCYP3A阻害剤を併用する際には減量も考慮する ・過去に臨床問題となる薬物相互作用が報告されている強力な阻害剤を以下に示す。 ケトコナゾール、イトラコナゾール、リトナビル、インジナビル、サキナビル、テリスロマイシン、クラリスロマイシン 上記いずれかを服用している患者については、本剤の投与開始前に1週間の休薬期間を設ける。 ・投与期間は1年間までとする。

記入者	阿部 誠也
確認者	梨本 実花